

海上の森自然観察会

日時：9月15日(土) 10:00~15:00 (晴後曇り)

テーマ：アカトンボなど秋の虫をさがそう

参加者：一般2、指導員8

九州付近を北上している台風16号の影響で、空模様が心配ですが、とりあえず出発の時点では晴れていました。今回は秋の花を見ながら四ツ沢から物見山に向かい(雲行きが怪しくなったら、途中で海上の里にショートカット)、大正池に回ってアカトンボなどを見るコースです。まだ咲き残っているキハギやホドイモの花を見ながら進むと、四ツ沢手前の道端にオオヒキヨモギの花がありました。オケラの横のオオヒキヨモギは既に花は終わり、実がついてい



ましたが、ここで花が見られたことは幸運でした。ちょうど見頃の先月の例会は、ひどい雨のため車で通過して見られなかったものです。林の中ではシュウブンソウ、ガンクビソウ、オトコエシ、ノササゲなどの花が楽しめました。この道で調査をしていた山本さんのグループと出会い、この辺りでは珍しいというタニソバの花が咲いていることを教えていただきました。

物見山への途中のヒヨドリバナにアサギマダラが飛来していませんが注意していましたが、まだ姿はなく、かわりにミドリヒョウモンらしいチョウ数頭を見ました。ここまでに結構時間がかかり、物見山で遅めの昼食となりましたが、食事中にクロアゲハやナガサキアゲハなどいろいろなチョウが周りを飛んでいました。



物見山からの下りでは、朝、駐車場で山本さんからナンバンハコベが咲いているという話を聞いて、探してみましたが、残念ながら確認できませんでした。大正池に向かう林道では、カエルを飲み込んでいるヤマカガシに出会いました。道端のササの葉にはマユタテアカネが多く、赤いオスと羽の先端が黒いメスをじっくり確認できました。ほかにやはり棲黒のリスアカネもありました。大正池は抜かれて水が少なく、干上がったところに紫色の小さな花が咲いていました。サワトウガラシということでした。

サテライトでの休憩後、雷鳴を聞いたため、急ぎ足で駐車場に向かいました。車に乗って帰路についた途端に、激しい雨が窓をうちました。間一髪で雨に見舞われずにすみ幸運でした。(齋竹 善行)

<観察できたもの>

花：キハギ、クズ、ホドイモ、アレチヌスビトハギ、アレチヌスビトハギ、ケブカアレチヌスビトハギ(仮称)、ノササゲ、トキリマメ、ヒヨドリバナ、シラヤマギク、オトコヨモギ、シュウブンソウ、ガンクビソウ、ヤブタバコ、スズカアザミ、ダンドボロギク、コセンダングサ、コメナモミ、ノコンギク、ヒメジョオン、ヤマシロギク、タカサブロウ、イタドリ、イヌタデ、ミズヒキ、シンミズヒキ、ポントクタデ、ミゾソバ、タニソバ、ヤノネグサ、ツユクサ、オッタチカタバミ、クサノオウ、アキカラマツ、センニンソウ、クサギ、キツネノマゴ、ミズタマソウ、アメリカミズキンバイ、ミソハギ、スズメウリ、ハエドクソウ、オトコエシ、アオツツラフジ、アカネ、イヌガラシ、ダイコンソウ、オオヒキヨモギ、ゲンノシヨウコ、ヒメジソ、イヌコウジュ、アキチョウジ、オニドコロ、ヤマジノホトトギス、ヤブラン、チヂミザサ、キンエノコロ

実：コバノガマズミ、サワフタギ、ウツギ、ヘクソカズラ、ミツバアケビ

鳥：コゲラ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス(声)、シジュウカラ、メジロ、ハシブトガラス

昆虫：ハグロトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマ、リスアカネ、マユタテアカネ、ウスバキトンボ、ホソミイトトンボ、モンシロチョウ、キチョウ、クロコノマチョウ(幼虫)、コムシジ、コジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、アサマイチモンジ、ミドリヒョウモン、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、ウラギンシジミ、キンモンガ、アブラゼミ(声)、ツクツクボウシ(声)、クマバチ、ヒメカマキリ

その他：トカゲ、ズアカムカデ